

# 公式記録

会場主任	石塚 俊一	主審	福島 惇輝
------	-------	----	-------

## 令和元年度第72回近畿高等学校サッカー選手権大会 男子の部 準決勝 【 14 】 近畿高体連サッカー部

日時	2019年6月16日(日) 14:30 キックオフ			会場	三木総合防災公園第二陸上競技場						
天候	晴れ	風	弱風	ピッチ	天然芝	人工芝・クレー	状態	良好	試合形式	70分 / 延長 0分 / PK戦 有	
運営責任者	笠原 弘樹		会場主任	石塚 俊一		記録	菅原 正裕 / 瀬滝 翔太		観衆	142人	
主審	福島 惇輝		副審1	山田 昌輝		副審2	中村 翔太		第4の審判員	松崎 涼	
チーム名	東海大仰星					0	京都橘				
						0	kick off				
						0					
						延前					
						延後					
						PK戦					
	選手番号					P	選手番号				
	OX 先					K	先 OX				
	戦						戦				

交代	シュート				選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	シュート				交代
	No.	OUT時間	延後	延前							後半	前半	前半	後半	
					高橋 博己 3年 21	GK	GK	1	松田 龍之介 3年						
					若林 帝誠 3年 2	DF	DF	2	松本 永遠 3年	2*				70+1	14
24	58分				坪内 佑慶 3年 4	DF	DF	3	藤橋 怜士 3年	1	1				
					高橋 情 3年 5	DF	DF	4	渋谷 勇希 3年					70+3	20
					小郷 慎二 3年 15	DF	DF	16	鈴木 惣一郎 3年						
				2	平野 太智 3年 8	MF	MF	5	志知 遼大 3年						
					美藤 倫 3年 10	MF	MF	7	佐藤 陽太 3年	1*					
					湯川 翔平 3年 11	MF	MF	8	湊 麟太郎 3年					70+1	17
18	62分			1	村上 陽斗 2年 13	MF	MF	10	高木 大輝 3年		1				
					増澤 岳流 3年 23	MF	FW	9	梅村 脩斗 3年	1					
16	42分				小村 和世 2年 20	FW	FW	11	梅津 倭風 3年						
					白石 稜典 2年 1	GK	GK	12	岩淵 真之亮 3年						
					勝浦 駿 2年 6	DF	DF	14	木下 溪 3年						2
					神戸 浩暉 2年 12	DF	DF	18	武田 一真 3年						
4					曾田 佳克 3年 24	DF	MF	6	田中 慶吾 3年						
					廣岡 一樹 2年 14	MF	MF	13	久保 成世 3年						
20					福留 玲央 3年 16	MF	MF	15	旭奈 滉人 3年						
13					内田 陸季 2年 18	FW	MF	20	垣谷 将太郎 3年						4
					藤倉 陽汰 2年 19	MF	MF	23	中藤 麗心 3年						
					能美 佑哉 3年 22	FW	FW	17	古川 巧 3年						8

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
53分	警告	4	坪内 佑慶	ラフ	6			3	3	シュート	5	2			7	分				
70+3分	警告	18	内田 陸季	ラフ	7			7	0	G K	6	3			9	分				
					6			1	5	C K	1	4			5	分				
					8			5	3	直接FK	6	9			15	分				
					3			1	2	間接FK	0	0			0	分				
					0			0	0	P K	1	0			1	分				

[警告事由] 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去 [退場事由] 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過	時間	チーム	No.	得点者	スコア	[得点経過]	略号例: ドリブル~・ゴロのパス~・浮き球O・混戦X・ヘディングH・シュートS
		27分	京都橘	7	佐藤	0-1	PK ⑦
	35分	京都橘	2	松本	0-2	左 ⑧ ~ → 中央 ② ~	S
	分				-		
	分				-		
	分				-		
	分				-		
	分				-		
	分				-		
	分				-		

戦評者 所属【 淡路三原 】 氏名【 正徳 篤樹 】

東海大仰星は4-2-3-1、京都橘は4-4-2で試合が始まる。2トップを起点にチャンスを作り出そうとする東海大仰星に対し、サイドに起点を作り突破を図ろうとする京都橘の一戦は、立ち上がりから互いにスピーディで激しい攻防を繰り広げる。そんな展開の中、前半25分京都橘⑨梅村がPKを獲得。それを⑦佐藤が決め、先制する。その後、前半35分、京都橘⑧平野が中央をドリブルで突破、サポートに来た②松本がボールを受け、PA外から右足を振り抜くと、ゴール左隅ネットを揺らした。後半も互いに激しくクリーンでスピーディな展開が続く中、2点ビハインドの東海大仰星は、⑩美藤を前線に置き、攻勢を図るも得点は生まれず。対する、京都橘は、粘り強い守備から両サイドの⑩高木、⑧湊のスピードとテクニックを活かし東海大仰星ゴールに迫るも追加点を奪えない展開が続く。両チームとも得点を奪えないまま、試合終了となった。互いにクリーンで、球際の攻防が激しく、スピーディなそれぞれのチームの特徴が出た見応えのあるゲームであった。両チームの今後の活躍を期待したい。